

令和元年度入退院時支援部会 研修会 を開催しました



2019年9月13日（金）上越市市民プラザ

～入退院時支援部会・直江津地区3 包括合同企画～ 直江津地区介護支援専門員合同研修会を開催しました。

入退院時支援部会植木部会長の挨拶から始まり、早津副部会長の司会進行で進められました。

多職種連携推進・研修部会清水部会長が、地域連携連絡票の説明を行うとともに、多職種連携推進・研修部会主催の、研修会参加者が、リーダーとしてグループワークの進行を行いました。グループワークでは、前向きな意見が多く、医療機関とケアマネの連携も深まりました。今後、地域連携連絡票の活用がさらに進みそうです。

<研修内容>

1. ケアマネジャーと病院の連携ガイドラン、入退院時連携フロー図、地域連携連絡票の活用状況調査の報告
2. 地域連携連絡票等について
3. 地域連携連絡票活用事例報告
 - ①介護支援専門員による事例報告
特養しおさいの里居宅支援事業所
介護支援専門員 山崎弘子 様
 - ②退院調整看護師による事例報告
新潟労災病院 地域医療連携室
退院支援看護師 佐藤絵美 様
4. グループワーク
 - ①入院時に『地域連携連絡票』で見てもらいたい事、書いてほしい事
 - ②退院時に『地域連携連絡票』で知りたい事、伝えられる事

<アンケート（自由記載 一部抜粋）>

回収率 77.8%（28名/36名）

■ケアマネ

感想

- ・病院側がみている部分、記入してほしい部分が聞けて、参考になった。
- ・情報が伝わりやすいように記入することを心掛けたい。
- ・病院側の方と、直接話ができ良かった。
- ・地域連携連絡票の活用が今後良くなると思う。
- ・地域連携連絡票を作成するうえで、分かり易く必要な情報を記載することを再確認した。全ての利用者を早めに作成したい。

今後の研修への要望

- ・定期的に病院関係者との会があると良い。
- ・医療連携について、地域資源活用について学ぶ機会があるとありがたい。
- ・多職種連携に関しての研修、意見交換、情報共有は視野が広がる。
- ・今回とてもよい雰囲気で見聞交換ができた。
- ・医療職の方と何度も顔を合わせることで、話がしやすくなり、情報共有できるようになると思うので、また開催してください。

■医療機関

感想

- ・ケアマネさんの生の声が聞かれ良かった。積極的な姿勢に驚いた。
- ・それぞれの立場で、地域連携連絡票の活用について意見交換、情報確認、現状確認できたと思う。
- ・地域連携連絡票を、ケアマネさんが大変な思いで記載していることが分かった。病院看護師がきちんと活用できるよう、支援看護師として働きかけていきたい。知りたい情報が申し送れるようにしたい。

今後の研修への要望

- ・病院と施設の連携のあり方について（実践的に）
- ・多職種で話し合える機会

